

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	竹生正人	法人・事業所の特徴	当施設も2018年4月で5年目を迎えました。きらめきの行事や地域との交流も少しずつ定着してきました。理念である、「あなたらしさいつまでも」を念頭に置き、地域の方々に助言を頂きながら、地域との繋がりを大切にすると共に、進んで地域の中に出向き交流や地域活動への参加を行っています。地域での暮らしが安心して出来るようサービスを柔軟に組み合わせ支援します。勝山きらめき小規模多機能が地域の中にとけ込み、開放感のある場所になるよう取り組んでいます。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能型ホーム 勝山きらめきハウス	管理者	笠川明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	2人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 特定の職員だけでなく他職員も会議に参加し積極的に発言をする。 会議に参加し地域の役割を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議には現場の介護員（全員）も交替で参加出来た。包括、地域の参加されている方とのつながりがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価するにあたり、介護用語や専門的な表現の言葉が分からない。外部に発進する時わかりやすい言葉にするとよい。 利用者の以前の暮らし方が何故把握しきれないのか、10個以上は多いのではないか、話しかけ方や引き出し方（世間話など）でかわるのではないのでしょうか。 あいさつや声かけ、ちょっとした気遣いで事業所のイメージが変わる。 きらめきの看板を背負って仕事をしている事を常に心がけて行動する。 以前よりは改善されよくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が、小規模多機能が地域の中でどのような役割を果しているのかを理解し地域とのつながりを持つ。 利用者一人ひとりの生活歴をアセスメントし、個別ケアに向けた話し合いを職員ですていく。話し合った内容をケアプランに反映し個別ケアに繋げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の活動内容は地域包括支援センター等のホームページを活用し、市にも提出する。 入り口の表示の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用して報告できている。 隣接のサービス高齢者向け住宅の入り口がわかりにくく小規模多機能のほうに来られる方がいるので適切な対応ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> B項目の質問が漠然としていてわかりづらい 来所した時の職員の声かけの一言で事業所に入った時のイメージが変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> きらめき周辺、敷地内を通る地域住民に声かけを行い、いっぷくできる環境を作り、きらめきに馴染み持っていただく。 利用者・家族の感想や意見をとり入れ会議で報告していく。

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の方と交流を繋げるために営業活動を行う。 ・あいさつ・運転マナーのお手本になる。 ・地域の行事には参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン（2回/毎月）を通して相談など受けている。 ・他事業所との連携がとれている。利用する地域の方の情報を共有している。 ・交通ルールは守られている。 ・行事参加できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山きらめきの場所がまだわからない。 ・「きらめき」と「すこやか」とを勘違いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信誌や周年祭等の行事、また、地域の行事に参加した際に、事業や活動の案内を行いきらめきを知っていただく。 ・運営推進会議できらめきの行事案内をし、運営推進会議メンバーの参加・参画を募る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設や学校などの行事を把握し参加する。 ・市広報やすこやかの情報を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンやハーツ便に買物に来られている方と話が来ている。 ・地域の学校や保育園の行事に参加できている。 ・運営推進会議を通じて地域の心配な方の情報交換は来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の事は外部にはわからない。 ・利用者が戸外に出ることは良い。（出ている姿を見かける） 	<ul style="list-style-type: none"> ・きらめき利用者が地域に出向き、地域での役割を（清掃活動等）もち、地域と顔なじみの関係を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での意見や情報を職員間で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議には現場の職員も参加し発言できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で行われていることはわからない ・地域の心配な方の情報交換は出来ているが事例検討として出来ているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で頂いた意見を職員間で協議し、改善状況についても報告を行っていく。 ・地域やきらめきでの課題を運営推進会議で共有し、協力して課題解決できる体制を構築する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が参加できる防災訓練を行う。（定期的に） ・マニュアルの確認と見直しをする。 ・市・地域の防災訓練に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を実施し指導を受けマニュアルの確認が出来ている。 ・市・地域の訓練や研修に参加出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画のマニュアルが設置されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に防災訓練は継続し地域の方と協力しながら地域、施設の安全を守る。